

ラケナリア・ムタビリス

Lachenalia mutabilis G.Lodd. ex Schult. & Schult.f.

キジカクシ目 キジカクシ科 ツルボ亜科 (クロンキスト体系: ヒアシンズ科)

半耐寒性の秋植え球根で、葉は通常1枚のみで、20~30cm。花茎は高さ45cmになり、穂状花序で、壺状の小花を多くつける。外花被は紫~赤紫で内花被が伸長してくると紫色が薄くなり、内花被は外花被よりも長く黄色や緑色という独特の配色になっている。-5℃程度の耐寒性があり、無加温の温室で容易に冬を越すが、松戸では平年より寒い冬だと葉が痛むことがある。

原産地・分布: 南アフリカ (ケープ州西部・南西部)

***Lachenalia* 属 花産業必修1000属検定 B級**

ラケナリア



千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-23

Name ID: 5392

